

## 文化講演会「新しい心肺蘇生法」が開催されました

講師：平澤博之 千葉大学名誉教授

”突然、目の前の人倒れ呼吸が止まっていたら！あなたはどうする？”

・・・そんなタイヘンな場合のために聞き逃さないテーマが今回の文化講演会でした。

2013年2月2日（土）、モリシア津田沼4F多目的ホール。演題は「新しい心肺蘇生法」。講師は平澤博之氏。千葉大学名誉教授で救急救命の世界的権威です。司会は吉田文化交流部会長でした。

「心肺蘇生については近年研究が進み、従来の方法と変わってきている。救急車が到着するまでの処置が生死を分ける。その場の人ですぐに救命行動をすることが大事」と平澤先生は強調されていました。

大切なポイントは、

1. 呼吸をしていなかったら、素人は人工呼吸はやらないで、すぐ胸骨圧迫心マッサージ。（素人は脈をみたりしない）
2. 近所にAEDがないかどうかを確認。可能な限りAEDを装着する。
3. 救急車を適切に利用する。

とおっしゃっていました。

さらに、119番通報は固定電話の子機がよい。「サイレンを鳴らさないで来てくれ」などと言わない。緊急車両はサイレンを鳴らしないと早く走れない。など具体的なアドバイスもあり、参加者は大いに納得していました。聴衆が少なかったのが残念でした。

